

改革の理念

東京大学



卓越性と多様性の相互連環

知の協創の世界拠点

①【研究】
新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開

②【教育】
基礎力の涵養と知のプロフェッショナルの育成

③【社会連携】
21世紀の地球社会における公共性の構築

④【運営】
複合的な場の充実と活性化

東京大学グローバルキャンパスモデル構築

インプット

SGU予算

物品費、人件費、謝金、旅費、その他

運営費交付金等

学生旅費等の経費

アクティビティ

グローバルリーダー育成関係

4ターム制の新学事暦

初年次ゼミ 国際研修

Global Leadership Program等

外国語教育 (ALESS・ALESA・FLOW)

単位認定型サークルプログラム

国際総合力認定制度

PEAK,特別選考の実施

研究力強化関係

総合日本学研究教育機構(仮称)の新設

国際卓越大学院等

教員の研究支援制度

東京大学広報戦略2020

海外有力大学等との連携強化

戦略的パートナーシッププロジェクトの推進

大学連合の活用

世界経済フォーラムとの連携強化

組織改革関係

新本部組織への改組

グローバルキャンパス推進室設置

日本語教育機関の整備

職員の国際交流・研修

クロスポイント,年俸制導入

アウトプット

戦略的パートナーシップ

戦略的パートナー大学の構築

各国有力大学との先端共同研究の促進

総合的教育改革

学事暦の変更

学生の国際展開力強化

海外への派遣学生数増加

本学への留学生数増加

国際短期プログラムの充実

総合的な教育改革による国際化教育プログラムの体系化

日本語学習教材の開発・日本語教育の組織的取組の推進

中核的プラットフォームの確立

グローバルキャンパス推進室の設置

学生の派遣・受入体制の最適化

グローバル・アドバイザリーボードの新設

事務職員の国際化促進

初期アウトカム

教育・研究

世界トップ大学との連携強化

留学支援体制の整備

新学事暦による学びの実質化・高度化

ジョイント教育プログラム,共同プログラムの充実

国際総合力認定制度の開始

博士修士一貫などの大学院プログラム

ガバナンス

東京大学ビジョン2020 学内意識の醸成

国際的・多角的な視点からの助言・提言・支援

提言を受けた運営の改善

組織改革

グローバルキャンパス推進本部の整備

グローバル・アドバイザリーボードの運営

部局間連携の活性化

事務職員の高度化

日本語教育機関の整備

中・長期アウトカム

非英語圏における世界トップレベルの研究型総合大学

新たな価値創造に挑む学術の戦略的展開

・SDGs実現に資する新たな価値の創造
・世界最先端の研究
・国際高等研究所の拡充

世界トップ大学・機関等との協創

・パートナー大学とのマッチングファンド、寄附金獲得
・優れた若手人材の活用
・産学協創推進本部の組織的な活動の活性化

基礎の涵養と「知のプロフェッショナル」の育成

・総合的教育改革の成果拡大
・グローバルリーダー輩出
・グローバル化時代にふさわしい独自の教育システムの世界発信

グローバル仕様の組織と職員

・未来社会協創推進本部(FSI)の組織的な活動の推進
・世界最高の教育研究を支える環境の整備

【背景】

国立大学をめぐる動向と社会からの期待

- 国の行財政改革と国立大学劣化の深刻化(1980~)
- 国立大学法人化(2004.4)
 - ・運営費交付金の漸減、年金受給年齢引き上げ
 - ・電気代高騰 etc.
 - 若手雇用の不安定化、国際競争力低下
- 第2次・第3次安倍内閣における国立大学改革
 - ・ガバナンス改革・学長のリーダーシップ強化
 - ・資産の有効活用
 - ・財源の多様化
 - 「運営」から「経営」へ

世界はGlobalization 4.0へ

異なる価値体系、文化を尊重しその強みを生かす中で人類社会を持続的・調和的に発展させることが急務

インパクト

- 1.多様なパートナーと協働し、人類が調和的に発展する未来社会創りを東京大学が先導する！
- 2.パートナーとの連携モデル、財源構築モデルを国内の大学に波及させ日本の大学全体が未来社会創りに貢献する土台を作る！
- 3.日本の国際求心力の強化！